令和３年度　事業報告

１　事業の概要

デルタ株とオミクロン株の猛威により、４月末には３回目となる緊急事態宣言の発令と、その後のまん延防止等重点措置が９月末まで続き、事業を実施するにあたり多くの制限を受けなくてはならない厳しい１年でした。このような状況ではありましたが、１年遅れとなったもののオリンピック・パラリンピックは無事開催され、政治面において、アメリカではバイデン新大統領へと体制が変わり、日本でも岸田総理の誕生と変換を迎えた１年でもありました。

センター事業に関しては、コロナ禍で会場の確保ができないことによる事業の中止や、安全対策を第一に考え規模の縮小等による形態を変えての開催等、工夫を凝らし事業を進める必要がありました。その中でも特に、新規事業である広報紙市内全戸配布は１００名以上の会員の就業を必要とし、作業を開始するにあたっての説明会等の会場や作業場所の確保において、山武市の協力を得ることができ４月号からの配布へと進めることができました。千葉県内では３例目となるセンターによる広報紙市内全戸配布業務は、市の大切な情報を市民の皆さんへお届けするという大変重要な就業です。多くの会員のマンパワーにより大過なく１年を送ることができました。広報紙１１月号では特集が組まれ、広報紙の表紙をシルバー会員が飾り、就業会員が取材を受け配布作業についての思いを語ることができました。改めて、会員の皆様のコロナ禍であっても地域社会への貢献心の高さを感じ、シルバーの実力を市民の皆さんにお知らせする絶好の機会となりました。広報紙を配布希望する新たな会員が増加したことにより、広報以外の就業分野においても会員が活躍できる場を確保するこ

ともできました。新たな事業として、市役所受付業務の開始や、工場内の清掃作業や施設内での軽作業等も受注することができました。

しかし残念ながら、事故件数は過去最大となり、さらなる安全就業の推進を検討しなくてはならない事態となりました。安全委員会では、就業に要する健康な心身を保持できるよう、専門家による健康講習会を開催し、就業の合間に簡単な体操を取り入れ疲労を和らげられるよう「これだけ体操」の実践を会員へ促しました。また、植木班と草刈班の合同による安全講習会を初めて行い、植木から見た安全面と草刈から見た安全面の紹介を各々で行い、日ごろの就業に役立ててもらえるよう交流を持つことができました。

女性会員の就業については、千葉県シルバー人材センター連合会（以下、「千シ連」という。）からの依頼を受け、市役所受付業務の就業の様子を紙面による地域新聞での取材と、千葉テレビによるテレビ取材を受け、新たに始まった事業の紹介を会員本人による出演で行いました。こちらの様子は、入会説明会でのシルバー事業の紹介にも用い、画像による事業の紹介へと役立てることができました。

すみれサークル活動は、全国シルバー人材センター事業協会（以下、「全シ協」という。）主催の東京都日本橋で開催されたシルボンヌ全国大会 IN TOKYO　2021 に、女性会員が作成した物品の販売で参加し、同じく物品販売をした全国の他センターとの交流を行い、これからの活動に役立てることができました。併せて、この大会で使用されたリーフレットには、新たに開始した受付業務の女性会員の活動の様子が紹介されました。そして、この大会以前には、全シ協の金子順一会長が山武市シルバーを訪問し、女性部会の委員との交流会を行い、女性部会の活動や女性の就業について活発に意見交換会を行うことができました。

このように、山武市シルバーは、コロナ禍であっても、可能な限りの事業を会員の皆様の協力によって行い、新たな就業を開始し、新たな仲間を得ることができ、転換期としてのシルバー事業の役割を果たし、結果を残すことができました。

そこで、この１年の事業実績を次のとおり報告します。

会　員　数　　正 会 員　　４５８人

（男性３０７人・女性１５１人）

特別会員　　１人

賛助会員　　２団体・７人

事　業　実　績

	受託事業	派遣事業
受注件数	２，９６０件	１８件
契約金額	２億１千万円	１千５百万円
就業延人日	３７，７５６人日	２，１６１人日
就業実人員	４７５人	２９人
就業率	１０３．７％	
事故報告	傷害事故　７件 物損事故　７件	０件 ０件

２　事業の報告

（１）１００万人計画に沿った会員拡大

第２次中期計画に基づき、令和３年度末会員数を４２０人としていましたが、この数値は令和２年度末において既に達成され、令和３年度末においても、次の取り組みを行い、会員数の増加を達成することができました。

・既存会員の減少抑止として、未就業会員への積極的な就業の紹介や、体調不良等により就業が難しい会員に対しては、プラチナ会員への移行を勧め退会抑止に役立てました。

・新聞折り込みチラシ等により、未加入の市民に対しシルバー事業の紹介を実施し、入会説明会への参加を呼び掛けました。

・就業開拓員による、公共施設等へのシルバー事業案内のポスター貼付や、就業会員不足対象地区へのチラシの投函を実施しました。

併せて、既に取引のある事業所の食堂等にシルバーポスター貼付依頼をし、定年退職者へ定年後の働き方としてシルバー事業の紹介ができるよう実施しました。

・ホームページに就業会員募集コーナーを設け、就業希望会員を募集しました。

・女性会員獲得に向けた「すみれの輪」の定期的開催を予定しましたが、感染症拡大の観点から事業の中止を余儀なくされ予定通りの開催とは行きませんでしたが、女性理事の意見も取り入れ可能な限り事業を実施しました。

・女性会員の就業しやすい就業分野の開拓として、積極的に子育て支援等の家事援助サービスをピーアールしました。

・千シ連と協力し、市民に対しての会員加入勧誘チラシの作成等や、千シ連ホームページと山武市シルバーのホームページをリンクし、入会促進に役立つよう整備しました。

【会員状況報告】

	成東	山武	松尾	蓮沼
入会	４９	４３	１６	５
退会	４０	３０	１８	２
会員数	１８５	１６４	７８	３１

【入会説明会参加者報告】

月	４月	５月	６月	７月	８月	９月
参加者	１５人	１９人	４人	５人	７人	１人
月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
参加者	１０人	８人	５人	４人	７人	７人

【プラチナ会員】

１４人　（男性７人　女性７人）

（２）安全就業対策の強化

残念ながら、傷害事故及び物損事故とも過去最大の事故件数となりましたが、ケガを負った会員も治療後は就業に戻り、物損事故についても、被害宅の要望通りに修理を行い、円満な事故解決へとつなげることができました。しかし、この事故件数は、どのように事故を減らしていけば良いのか？という安全委員会での最大検討科目となりました。

・就業会員による就業場所確認の徹底を呼び掛けましたが、残念なことに何件かの作業場所では徹底されず、物損事故につながってしまう結果となりました。

・余裕を持った就業開始を呼びかけ、休憩時には健康講習会で習得した「これだけ体操」の実践を、草刈・植木就業会員を中心に呼び掛けました。

・安全大会は、感染症拡大の観点から開催を見送りましたが、きらきらシルバーフェア開催時には「安全コーナー」を設け、飛び石対策や安全委員会の取組等をパネルを使い紹介しました。

・職群班体制を活かし、熟練会員による若手の育成を各地区で実施しました。

・必要に応じ、会員の就業先を役職員が安全パトロールを行い、安全就業が日頃より実践されているかの確認をしました。

・「適正就業ガイドライン」の内容について、新規入会者や新規発注者及び既存発注者に対して随時説明を行い、適正就業への理解を進めるよう努めました。

【安全関連講習会等】

初心者向け実技草刈講習会：２地区で開催

健康関連講習会開催

【安全だより】

５月、１月に発行

【事故報告】

	傷害事故	物損事故
事故件数	７件	７件

【職群班活動】

植木班（２地区６班)、草刈（３地区７班)、軽作業１５班

班員のとりまとめ及び安全管理、発注者・事務局との連絡調整等

【派遣就業報告】

就業内容	受注件数	就業実人数
運転業務（人・物運搬）	６件	10 人
草刈・植木・運転業務	６件	３人
工場内作業	４件	９人
厨房手伝い	１件	２人
コース管理	１件	２人
病弱者サービス	１件	３人

（３）フレイル対策として捉えるシルバー就業のあり方

コロナ禍での高齢者の引きこもりは社会問題ともなっていますが、会員については、就業を行うことによって引き続き外に出て地域社会との関わりを持ち、就業をするための健康な体を維持管理するよう心がけることができました。

・主に草刈就業を対象とした体の痛みに関する対処法レッスン会を、日本医科大学医学部衛生学公衆衛生学講師の陣内裕成先生から講習を受け、自分の身体の痛みを知ることで対処法を学び、就業時に取り入れられる「これだけ体操」を学び役立てることができました。

・会員が各種事業等に参加することでポイント加算をし、就業だけではない場面においても、生涯現役感を感じてもらえるよう新たにポイント制度を開始しました。

・すみれサークル活動においては、感染症拡大の観点から、活動に制限がかかり集合での活動ができない時期もありましたが、全シ協主催のシルボンヌ全国大会 IN　TOKYO　2021 では、すみれサークルの物品の展示販

売を行い、女性会員活動のピーアールができました。

・いきいきクラブは、さつまいも２，４００本芋苗を作付けし、全国的に流行った基腐病が心配されましたが感染することはなく、収穫へとつなげることができ、多くの会員や市民の方たちに販売することができました。

・市と連携を取った子育て支援も「おばあちゃんの知恵」を発揮した女性会員が、若い世代をサポートし大変感謝され、女性会員のやりがい感の充実にもつながりました。

・ボランティア活動は、山武地区は封入作業場所の移転により作業を６月に行い、使用されなくなった公共施設を、会員の清掃活動への協力により作業場所へと変身させることができました。その他の地区については、規模を縮小し１０月に例年どおりの活動を行いました。どの公共施設も、多くのシルバー会員の清掃活動に大変感謝され喜ばれました。

【ボランティア活動報告】

	山武地区	松尾地区	蓮沼地区	成東地区
月　日	６月１５日	１０月７日	１０月１２日	１０月１５日
場　所	山武福祉作業所、 睦岡作業所、 山武福祉センター	松尾 IT 保健福祉 センター・ 松尾駅下	蓮沼交流センター	白幡倉庫
内　容	植木草刈草取清掃	草刈草取	草刈草取	草刈草取
参加者	４３人	２２人	１０人	２１人

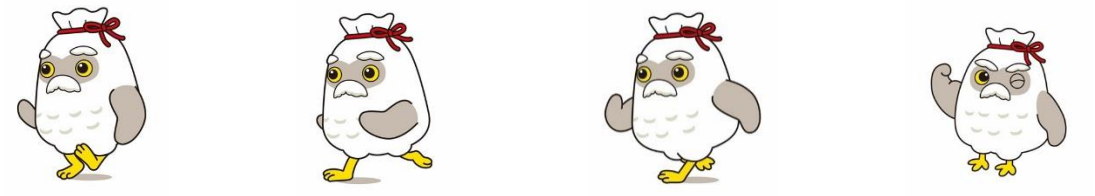
【すみれの輪】

月　日	１１月９日	１２月１６日	２月３日
場　所	農村改善センター	松尾 IT 保健福祉センター	松尾 IT 保健福祉センター
内　容	ボッチャ	ピザ作り	太巻き寿司作り
参加者	会員１９人	会員２２人市民２人	会員１８人

【地域班活動】

成東（３地区９班)、山武（１地区６班)、松尾蓮沼（２地区６班）

配布物７回お届け、ボランティア活動及び次年度更新説明会協力



【独自事業活動報告】

	すみれサークル	いきいきクラブ
就業実人員	１４人	２３人
就業人日	１４３人日	６９人日
収入実績	１４３，９４０円	８２，８７５円
活動内容	手差し、ちりめんフラワー、手提げ袋、布マスク、タオルワンちゃん・ニット帽子等作成と販売	サツマイモの栽培及び収穫と販売

すみれサークル活動紹介

シルボンヌ全国大会　IN　TOKYO　2021

物品販売及び事業紹介

【介護予防・日常生活支援総合事業】

受注実績　１件

【子育て支援事業】

市が実施する多胎妊産婦サポーター研修を受講した会員が、子育て支援を必要とする家庭に対し、家事援助サービスを行うことで、若い世代が安心して子育てが行えるようサポートしました。

多胎妊産婦サポーター　受注実績　４件

ママ家事サポート　　受注実績　２件

（４）利用者サービスの向上

・パソコンシステムの更新時期による変更に伴い、発注者がコンビニエンスストアで支払いが可能になる新たな決済方法を開始し、発注者の利便性の向上に役立てることができました。

・ホームページを利用した情報発信を行うことで、新たな発注者の獲得や、会員への情報伝達に役立てました。

（５）関係機関との連携強化

・市役所を中心としたシルバー関係者との連携を、会長を中心に積極的に行うことができました。

・就業開拓については、就業開拓員が発注者への定期的な訪問を行い、

情報の発信や収集を積極的に行うことで、新規就業の獲得や既存就業の拡充へとつなげることができました。また、業務係で対応できないアフターフォローについても、就業開拓員が就業先を訪問することで、既存就業の継続につなげることができました。

・会長は、千シ連の理事を務め、シルバー事業に必要な情報の収集等を積極的に行い、円滑な事業の運営につなげることができました。

　また、全シ協主催の新任会長・理事長研修の事例発表者として、新たに就任した全国から集まった会長・理事長の皆さんに向けて、更新説明会の開催等の特色ある山武市シルバー事業の紹介を行い、山武市シルバーの全国的な知名度貢献に努めました。

・事務局長は、全シ協のシルボンヌ実行委員として委員会に参加し、全国大会で山武市シルバーの物品販売や就業会員のリーフレット登用に努めました。また、福岡県シルバー人材センター連合会主催の事務局長会議での事例発表者として、広報紙の全戸配布や女性会員の活躍等についての山武市シルバー事業の紹介を行いました。

・経理主任は、今後開始予定のインボイス制度の導入について、研修会に参加し、情報の収集に努めました。

【就業開拓員活動報告】

就業開拓員	２名	就業日数	９９日

（６）組織体制の整備

・会長及び副会長出席で、毎月初めに職員全体会議を行い、就業や活動についての情報共有を行い、事業運営が円滑に行われるよう努めました。

・監事２人は、毎月就業報告書の確認を行い、会員の就業ぶりや発注の様子について確認を行いました。

・理事会を毎月開催し、新規入会者の承認だけでなく、組織運営に必要な安全委員会や新規事業開拓委員会の報告を受け、その内容についての情報共有を行うと共に意見交換をし、組織の活発化に努めました。

・広報紙の配布状況等については、適宜関係者での打合せ等を行い、就業が速やかに行えるよう整備を進めました。

・独自事業の実績が全国２位である福岡県の直方市シルバー人材センターを事務局長が訪問し、独自事業について先進センターでの運営の進め

方や会員の就業の様子等を視察してきました。

・スマホ所有の会員が増えていることから、SMS メッセージを利用した新たな情報発信を行いました。

　また、スマホの利用状況については城西国際大学のアンケート調査に会員が協力し、その結果を大学と共有し、今後のデジタル化の推進に役立てることができました。

・令和４年度より始まる第３次中期計画について、理事会で活発な意見交換を幾度となく重ね、策定へとつなげることができました。